

整理番号 S-44

出 展 織物欠点解析事例集

欠 点 名 よこ段(内外層差)

品 名 ベンベルグタフタ

試料形態 織物

組 織 平

糸 使 い

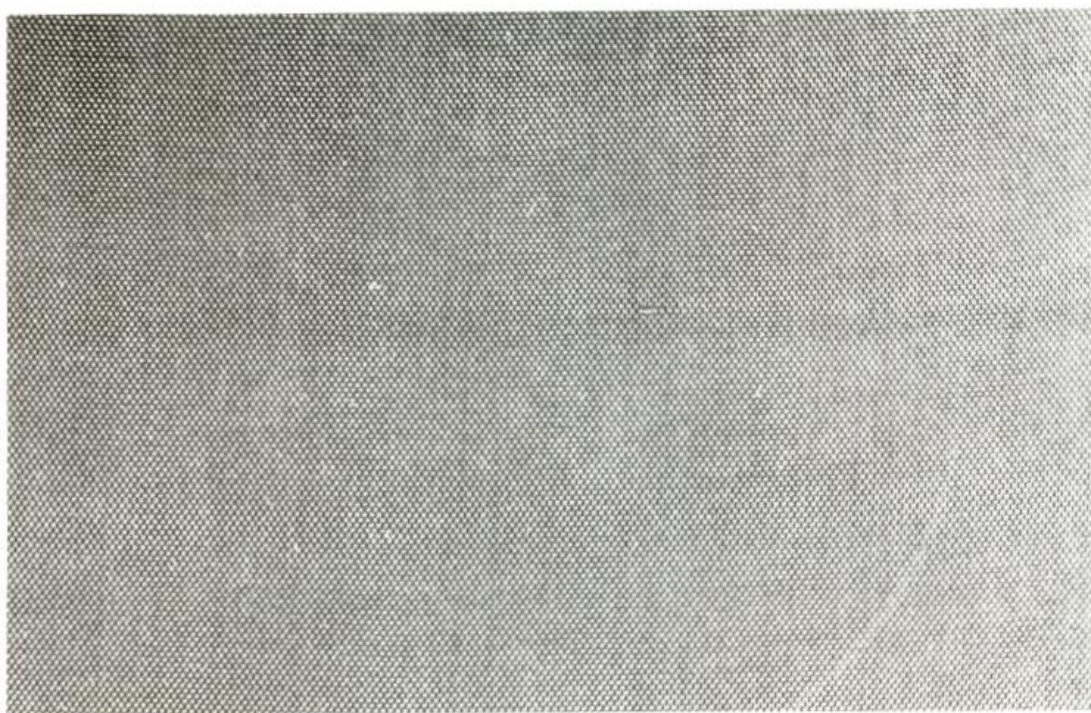
たて糸:ベンベルグ 75d

よこ糸:ベンベルグ 75d

欠点発生状況

約 5mm 幅のよこ段が所々に発生している。その段と正常部分との境目には必ず結び目がある。生機ではわからなかったが、染色加工後に発見されたものである。染色工場の検査では、400 疋中 64 疋の C 反が発生し、段以外の欠点もかなりある。

試料写真



試験結果

(1)強伸度測定

(2)織度測定

(3)フィラメント数測定

	正常部分	欠点部分
強度 (gf)	127.9	114.9
伸度 (%)	7.9	7.6
織度 (d)	78.7	76.2
フィラメント数(本)	45	45

※よこ糸

(4)織密度

・異常は認められない。

所 見

強伸度測定の結果、欠点部分のよこ糸は強度が低下しており、織度比較では欠点糸が 2.5d も細いことがわかった。密度検査では密度差がないので機械段ではないと考えられる。

現場調査の結果、サイジングの残糸がよこ糸に使われていることがわかった。即ちこの織物はチーズの最内層糸を集めて織ったものである。チーズの最内層はどうしても糸の品質が不安定なので、できるだけ最内層は避けるべきである。本件のように内層糸ばかり集めて織れば欠点が出やすいと考えられる。
